

文章の要旨をえらぼう

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

なまえ _____

ひょうけ _____

1 伝統を受けつぐを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

祭りや工芸などの伝統は、長い年月をかけて受けつがれてきた人々の知恵と工夫の結晶である。時代とともに変わっていくものも多いが、その中で守られてきたものには、今を生きるわたしたちが学ぶべき価値がふくまれている。伝統を知ること、自分たちの根を知ることでもある。

- 1 伝統には学ぶべき価値はない。
- 2 伝統は古いので捨てるべきだ。
- 3 伝統を知ことは自分たちの根を知ることでもある。
- 4 伝統は一年で作られたものだ。

2 問い続けることを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

答えのわかっていることを覚えるだけが学びではない。「なぜだろう」「本当にそうだろうか」と問いを持続けることこそ、新しい発見の出発点になる。当たり前だと思われていることを問い直す姿勢が、学問や社会を前へ進めてきたのである。

- 1 学びとは答えを覚えることだけである。
- 2 問いを持つことは学びのじゃまになる。
- 3 当たり前を問い直すことは意味がない。
- 4 問いを持続けることが新しい発見の出発点になる。

3 情報を選ぶ力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

社会には、あふれるほどの情報が飛びかっている。その中には正しいものもあれば、まちがったものや、人をまどわせるものもある。多くの情報にふれられる時代だからこそ、何が正しいかを自分で考え、選び取る力がいっそう大切になっている。

- 1 情報は多いほどそのまま信じてよい。
- 2 情報を選び取る力がいっそう大切になっている。
- 3 社会に飛びかう情報はすべて正しい。
- 4 情報は自分で考えず受け入れればよい。

4 努力の積み重ねを よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

大きな目標は、いっぺんに達成できるものではない。今日できる小さなことを、あきらめずに続けていく。その積み重ねが、気づいたときには大きな力になっている。地道な努力を続けられることこそ、目標に近づく確かな道なのである。

- 1 大きな目標はいっぺんに達成できる。
- 2 小さな努力は積み重ねても意味がない。
- 3 努力より運のほうが大切だ。
- 4 地道な努力の積み重ねが目標に近づく確かな道である。

🔍 いちごドリル プリント